

ピアネット北通信

2006(平成18)年8月1日発行

URL : <http://www.peernet.or.jp/>

E-mail : peernet@ma.kitanet.ne.jp

【事務局】

〒114-0003 北区豊島5-5-5-612

TEL・FAX : 03-3913-9308

【北区障害者地域自立生活支援室】

〒114-0032 北区中十条1-2-18

TEL・FAX : 03-3905-7226

【療育相談事業 あこの会】

〒114-0034 北区上十条1-1-7

TEL : 03-6279-2275 FAX : 03-6279-2269

【重度身体障害者グループホーム やじろべえ】

〒115-0052 北区赤羽北1-7-23

TEL・FAX : 03-6657-9077

もくじ

1. 重度身体障害者グループホーム「やじろべえ」開所式
2. パンフレット完成
3. 今後の予定

* 重度身体障害者グループホーム「やじろべえ」開所式 *

7月30日(日)10:30~12:00、北区立赤羽北区民センターにおいて「やじろべえ」開所式を開催しました。当日は、多くの来賓の方、会員の方、入居者の方とご家族にご出席いただき、総勢約70名の盛大な式を執り行うことができました。今回は開所式の様子をご紹介します。

【御礼挨拶】

本法人の理事長・井上良子より「やじろべえ」開所にあたり御礼のご挨拶をさせていただきました。

「皆さまのご協力のおかげで、重度身体障害者グループホーム“やじろべえ”は平成18年5月27日に開所することができました。“やじろべえ”という名前には、三者三様のゆれ動く気持ちを表しています。まず、親の立場としましては、自分が亡くなったらどうしようという思いがあります。しかし健康であるうちはなかなか子どもを手放せません。自分たちでグループホームをつくらうという目標をもって動いていても、

いざ子どもがいなくなると心配・・・、という親の『ゆれ動く気持ち』。次に子どもたち自身も、親元を離れて生活をするという体験が少ないために親のいない生活をなかなか想像できません。開所して2ヶ月



理事長 井上良子

経ちますが、この間、週末は家に帰りたいという人もいます。でも心の中では親からは自立はしたい！という気持ちでいっぱいなのです。こうした子どもたちの『ゆれ動く気持ち』。そして最後に、一人ひとりの希望を実現したい、でもなかなか入居者の細かいところまでの思いを汲み取れないという職員の『ゆれ動く気持ち』。職員には365日24時間、4人の入居者の生活をサポートしていただきます。きっと想像よりも大変な仕事だと思います。こうした三者三様のゆれ動く気持ちの中で、バランスを保ちながらも決して倒れない！そういう思いを込めて“やじろべえ”と名づけました。

重度身体障害者グループホームは、まだ都内には12ヶ所しかありません。今後、他のグループホームの方々のお知恵をお借りしながら“やじろべえ”を風通しのよいグループホームにしていきたいと考えております。そのためには、皆さまに足をお運びいただき、見守っていただければ幸いです。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしく願いいたします。」

【 来賓祝辞 】

北区長代理、北区健康福祉部長・井出孝一様、北区議会健康福祉委員会委員長・相楽淑子様、北区障害者団体連合会会長・橋本勝行様より「やじろべえ」に対する期待、激励等のご祝辞をいただきました。



北区健康福祉部長 井出孝一様



北区議会健康福祉委員会委員長 相楽淑子様



北区障害者団体連合会会長 橋本勝行様

【 乾杯 】

4名の入居者の方が日中利用している赤羽西福祉工房の工房長・古瀬正義様より日頃の入居者の様子のお話と乾杯の音頭をとっていただきました。



赤羽西福祉工房長 古瀬正義様

【 ご歓談 】



ご歓談中の様子

まだ何も無い土地から「やじろべえ」が完成するまでの写真と、完成した内部写真を約15分のDVDにまとめ、ご歓談中の皆様に見ていただきました。DVDの後半は入居者の方の一人ひとりの小さいころから現在までの成長過程の写真も入っており、DVD上映は大好評でした。

【 入居者紹介 】

入居者 4 名の方のお名前の紹介の後、入居者を代表して、市川さんより挨拶をしていただきました。市川さんからは、これから「やじろべえ」で生活をしていく中で取り組んでいったこと、特に地域の中の住民として、地域の行事などに積極的に参加していきたいこと等これからの抱負についてお話いただきました。



左から田名網さん、市川さん、井上さん、鍋本さん

【 感謝状贈呈 】

「やじろべえ」の設計をしてくださった飯野建築工房・飯野孝明様、建築施工を担当してくださった有限会社共栄建築工業所・河住良幸様へ感謝状を贈呈させていただきました。また、北区に北区福祉施設整備基金として多額のご寄付をしてくださりました武石信治様は、御欠席でしたので後日感謝状をお届けに伺います。基金の一部を“やじろべえ”の建設に使わせていただきました。



左側が飯野建築工房 飯野高明様



左側が共栄建築工業所 河住良幸様

【 閉会の言葉 】

事務局長・谷内孝行より、出席者の方への御礼と先日完成したばかりの本法人のパフレットおよびロゴマークの説明をさせていただきました。

「ロゴマークを形作る大きさや色の違う丸はピアネット北の活動に賛同してくださっている会員の方、障害種別をこえた障害者、研修会等に参加してくださる方々などを表しています。NPOの活動は社会的価値のあるものを生み出す活動です。そ



事務局長 谷内孝行



のためには、それぞれの丸が密着しては各々の主体性がなくなってしまいます。また、第三者が入りづらくもなります。そうならないためにはお互いの“ゆるやかな関係”が必要です。ロゴマークにはこのような思いを込めています。最後に、やじろべえは社会的価値のあるもの、しかし価値のあるものは一度つくったらそれで終わりではありません。その価値を再生産していく努力が必要です」と締めくくり開所式を無事終えることができました。

開所式にご出席いただきました皆様、またお手伝いしてくださった会員の方々、ありがとうございました。

